

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	9
事業名	消防団経費	会計	款	項	目
		一般	9	1	2
政 策	8 安全と安心を守るために	課名	総務課		
施 策	8-1 消防・防災対策の充実	係名	防災対策室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的（対象がどのような状態になっているか）	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。
事業内容	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。 非常時に召集し、火災や風水害などの災害活動を行うほか、地域に密着した火災予防広報、応急手当普及活動、自主防災組織の訓練指導などの予防防災活動を行うことによる人件費。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	消防団員数	93	93	96	人		98	
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				20,344		21,330		28,530	
財源 内訳	直接事業費A			18,556		19,542		25,548	
	うち一般財源			18,151		18,973		25,348	
人件費（千円）B				1,788		1,788		2,982	
内訳	一般職員（人・千円）			0.26	1716	0.26	1,716	0.37	2,442
	臨時職員（人・千円）			0.04	72	0.04	72	0.3	540

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	処遇改善の拡充及び団員確保	③取組の課題	退団者があった場合に速やかに補充できる体制の構築
②R5年度に実施した取り組み	いなべ市消防団・桑名市消防本部との合同訓練を実施した	④今後の改善計画	能登半島地震を受けて常備消防と連携した災害対応訓練の拡充 令和8年度開催の操法大会出場について消防団の運営について（処遇改善及び団員確保）検討が必要